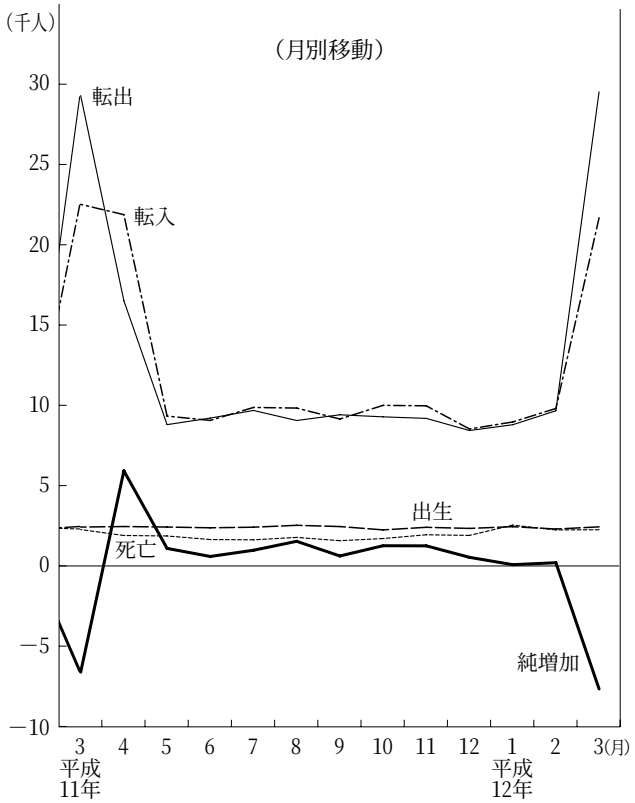
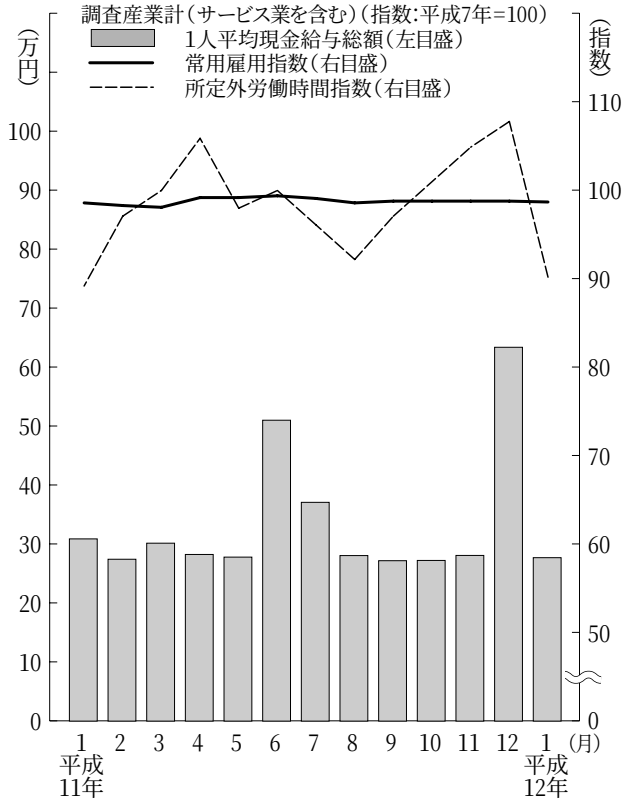
今月の主な動き

人　口



賃金・労働時間・雇用



■人口（12年4月1日）

３月の概況

本県の人口は，３月中に7,666人減少し，４月１日現在で**2,994,607人**（男1,493,702人，女1,500,905人）となった。

内訳は，自然動態で，180人（出生2,430人，死亡2,250人）増加し，社会動態で，7,846人（転入21,680人，転出29,526人）減少した。前年同月と比べると6,352人（0.2%）の増加である。

市町村別では，増加が２市12町村，減少が18市51町村，増減なしが２村である。

世帯数についても３月中に1,549世帯減少し，**989,127世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用（12年1月）

１．平均賃金の推移

1月の現金給与総額は，調査産業計で，**277,249円**，対前年同月比10.4%減であった。現金給与総額のうち，きまって支給する給与は267,132円，対前年同月比1.9%減であった。特別に支払われた給与は，10,117円であった。

２．労働時間

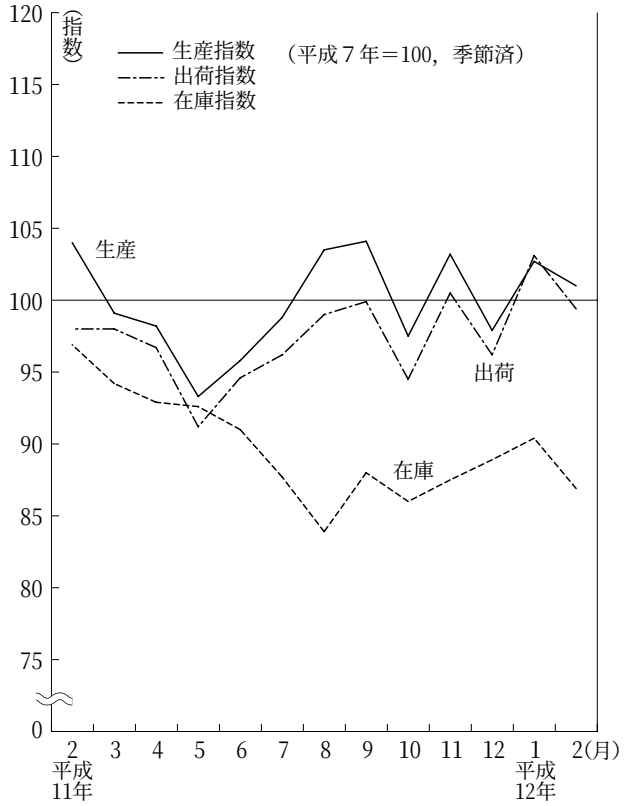
1月の総実労働時間は，調査産業計で，**141.3時間**，対前年同月比0.6%増であった。総実労働時間のうち，所定内労働時間は132.1時間，対前年同月比0.5%増であった。所定外労働時間は9.2時間，対前年同月比1.1%増であった。

３．雇用の動き

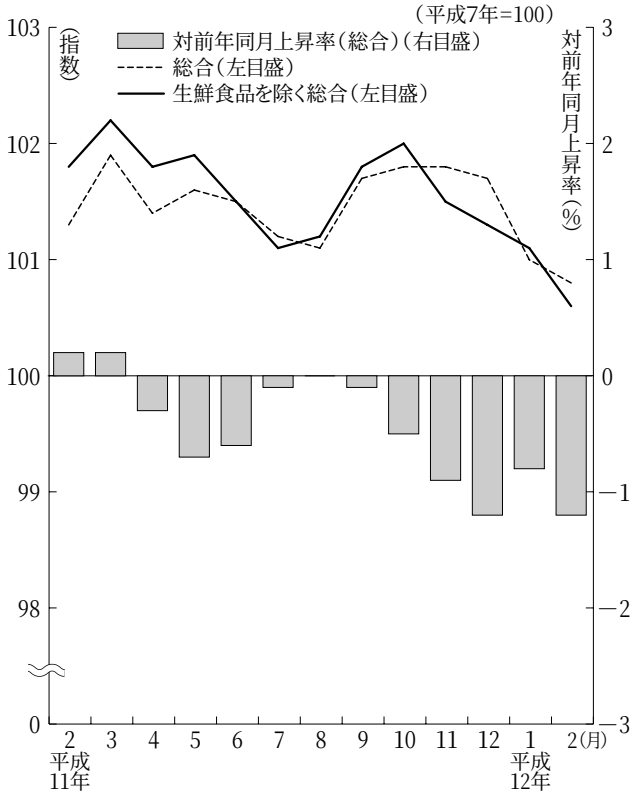
1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比0.１%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。
なお，事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉



■消費者物価指数



■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（12年２月）

本県における平成12年2月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は，季節調整済指数で生産が**100.9**，出荷が**99.3**，在庫が**86.8**であった。

1　生産の前月比は△1.7％の低下，前年同月比は△2.9％の低下であった。業種別に前月比をみると，精密機械工業，鉄鋼業，輸送機械工業等が上昇し，電気機械工業，金属製品工業，パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。財別にみると，その他用生産財，建設財等が上昇し，耐久消費財，非耐久消費財等が低下した。

2　出荷の前月比は△3.6％の低下，前年同月比は1.5％の上昇であった。業種別に前月比をみると，精密機械工業，プラスチック製品工業，輸送機械工業等が上昇し，一般機械工業，電気機械工業，鉱業等が低下した。財別にみると，その他用生産財，鉱工業用生産財等が上昇し，資本財，耐久消費財等が低下した。

3　在庫の前月比は△3.9％の低下，前年同月比は△10.4％の低下であった。業種別に前月比をみると，鉱業，精密機器工業，繊維工業等が上昇し，プラスチック製品工業，食料品・たばこ工業，パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。財別にみると，資本財，建設財が上昇し，その他用生産財，鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数（12年２月）

平成12年２月の茨城県消費者物価指数（県平均）は，総合で**100.6**（平成7年＝100）となり，対前月比は（－）0.5％下落し，対前年同月比も（－）1.2％の下落となった。

今月の上がった主な項目…乳卵類2.4％，
油脂・調味料2.4％

今月の下がった主な項目…洋服（－）5.4％，
生鮮果物（－）11.1％

生鮮食品を除く総合は100.8となり，対前月比は，（－）0.2％下落し，対前年同月比も（－）0.5％の下落となった。

■費目別指数

（平成７年＝100）

区　分	指数	上昇率（%） 対前月	上昇率（%） 対前年同月	区　分	指数	上昇率（%） 対前月	上昇率（%） 対前年同月
総　合	100.6	△0.5	△1.2	保健医療	110.9	△0.8	△1.0
食　料	101.4	△0.6	△2.5	交通通信	97.4	△0.1	△0.3
住　居	101.7	0.0	△0.2	教　育	108.3	0.0	0.8
光熱・水道	101.5	0.0	△0.2	教養娯楽	98.3	0.1	△1.1
家具・家事用品	94.3	△0.4	△1.4	諸雑費	102.3	0.0	△0.5
被服及び履物	96.4	△3.1	△2.5	生鮮食品を除く総合	100.8	△0.2	△0.5